

救急 ・ 救助

# 一 目 統 計

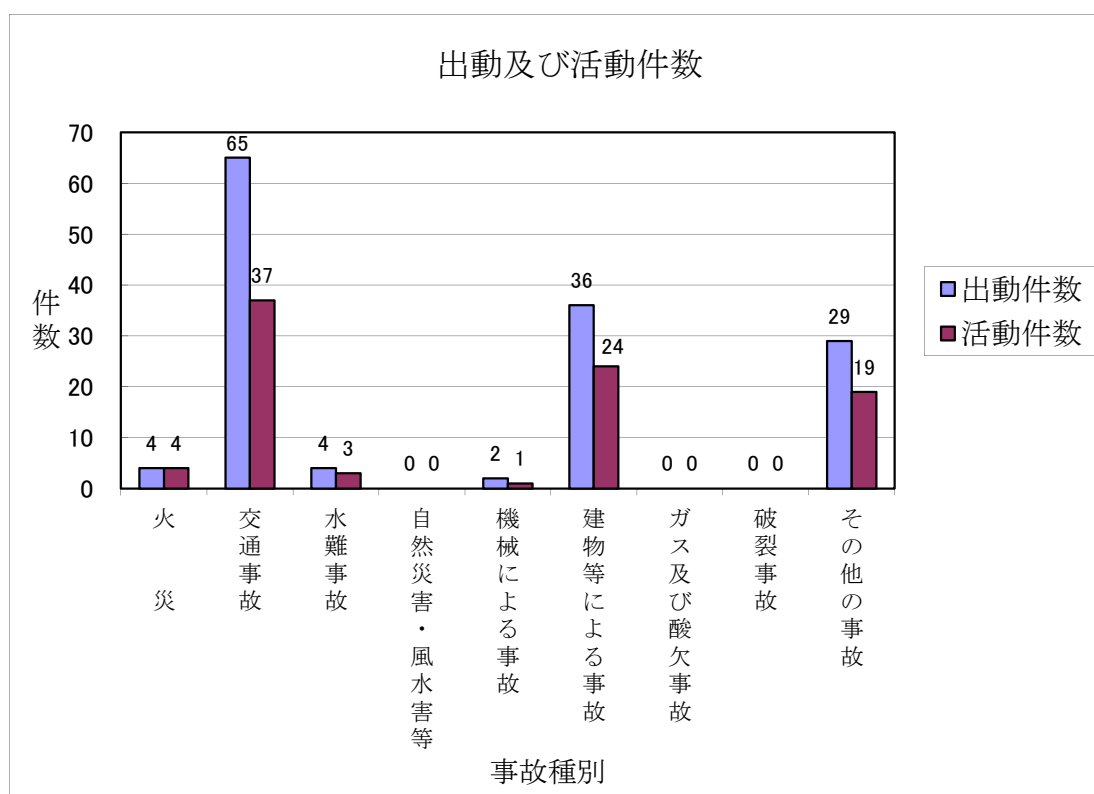
平 成 2 9 年 中

救 助 出 動 件 数		1 4 0 件
	(うち 高度救助隊 出動件数	8 6 件 )
救 助 活 動 件 数		8 8 件
	(うち 高度救助隊 活動件数	3 7 件 )
活 動 割 合		6 2 . 8 %
出 動 延 べ 隊 数		5 9 5 隊
救 助 人 員		9 6 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 4 件
活動 1 回あたりの平均救助人員		1 . 1 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	4 月	1 7 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	1 1 月	5 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	火曜日	2 6 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	木曜日、金曜日	1 4 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	四郷地区	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	中央地区	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	8 時～9 時	1 7 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	3 時～4 時	0 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	交通事故	6 5 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	2 月 1 5 日、4 月 2 3 日 8 月 8 日、1 0 月 1 日	3 件

## 救出・救助活動状況

(平成29年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	4	65	4	0	2	36	0	0	29	140
出動隊数	41	328	26	0	11	88	0	0	101	595
出動延べ人員	239	1,239	89	0	43	325	0	0	401	2,336
活動件数	4	37	3	0	1	24	0	0	19	88
救助人員	3	43	4	0	1	22	0	0	23	96



## 水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成30年4月1日現在、21名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

### 水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
25 年 中	災害出動 水難救助	10	0	0	0	1	2	1	3	1	0	1	1	0
	水難訓練	33	1	1	3	3	3	3	4	6	3	3	2	1
	新人研修	25	2	2	2	0	0	5	2	2	2	2	4	2
26 年 中	災害出動 水難救助	7	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	水難訓練	29	1	1	3	1	4	3	2	4	3	3	2	2
	新人研修	24	2	2	2	0	0	4	2	2	2	2	4	2
27 年 中	災害出動 水難救助	12	0	0	0	2	2	0	1	1	3	0	1	2
	水難訓練	28	2	1	2	3	2	2	2	3	2	3	3	3
	新人研修	22	2	2	2	0	0	4	1	3	1	2	4	1
28 年 中	災害出動 水難救助	7	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	1
	水難訓練	30	0	3	3	0	3	3	2	4	3	3	3	3
	新人研修	26	2	3	2	0	0	0	0	7	2	5	5	0
29 年 中	災害出動 水難救助	4	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	水難訓練	24	0	2	1	3	3	3	0	0	2	4	3	3
	新人研修	24	2	1	0	0	0	5	2	4	2	4	2	2

## 一 目 統 計

平成29年中

救 急 出 動 件 数		14,444件
搬 送 件 数		12,284件
不 搬 送 件 数		2,160件
搬 送 人 員		12,409人
	男	6,685人
	女	5,724人
一日あたりの平均出動件数		39.6件
一日あたりの平均搬送人員		34.0人
救急告示医療機関数		10施設
	四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)	
出動件数の多かった月	1月	1,528件
出動件数の少なかった月	4月	1,052件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,228件
出動件数の少なかった曜日	土曜日	1,972件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,188件
出動件数の少なかった地区	同和地区	38件
出動件数の多かった時間帯	10時～11時	889件
出動件数の少なかった時間帯	4時～5時	250件
出動の多かった事故種別	急病	9,377件
出動件数の一番多かった日	1月17日	101件
出動件数の一番少なかった日	4月27日	14件

## 平成29年中の救急業務の概要

平成29年中の救急出動件数は14,444件で、前年に比べ137件の増加となりました。また、搬送人員は12,409人で前年と比べ18人の増加となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が9,377件(64.9%)で最も多く、続いて「一般負傷」が2,056件(14.2%)、「交通事故」が1,373件(9.5%)、「転院搬送」が990件(6.9%)となりました。

「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約23人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、39.6件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「高齢者」と「新生児」は増加していますが、「成人」、「少年」、「乳幼児」は減少しています。「高齢者」の搬送比率は56.5%となっており、年々増加しています。

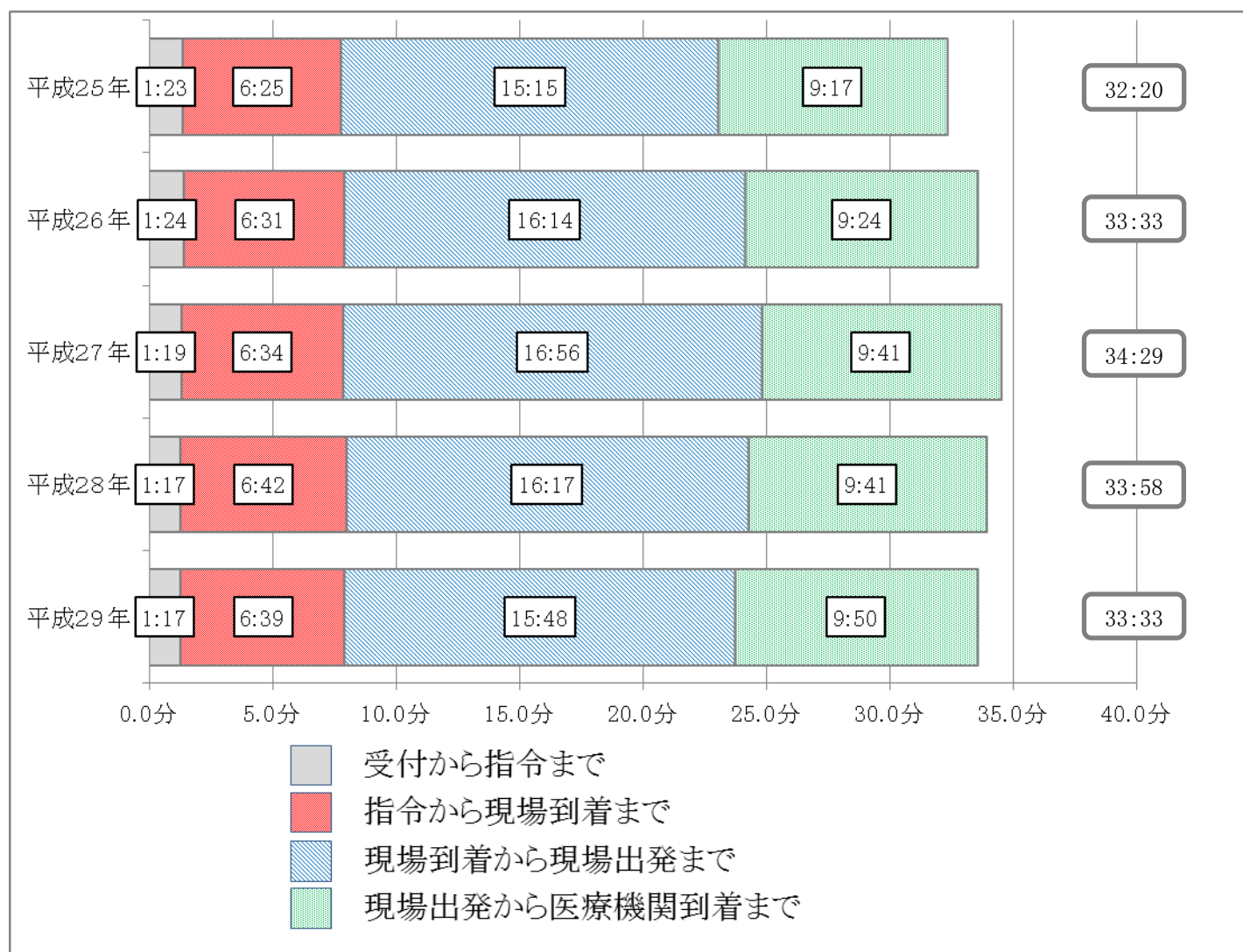
『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は59.6%となっています。前年と比較し、「重症」の比率は増加していますが、「軽症」、「中等症」、「その他」の比率は減少しています。

『地区別』の傾向については、「常磐」「四郷」「日永」「三重」の各地区が救急需要の多い4地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に4台の救急車を、また中央地域、西部地域、南部地域、北部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計11台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

### 過去5年間の傷病者収容所要時間



#### ◎5分救急の指標

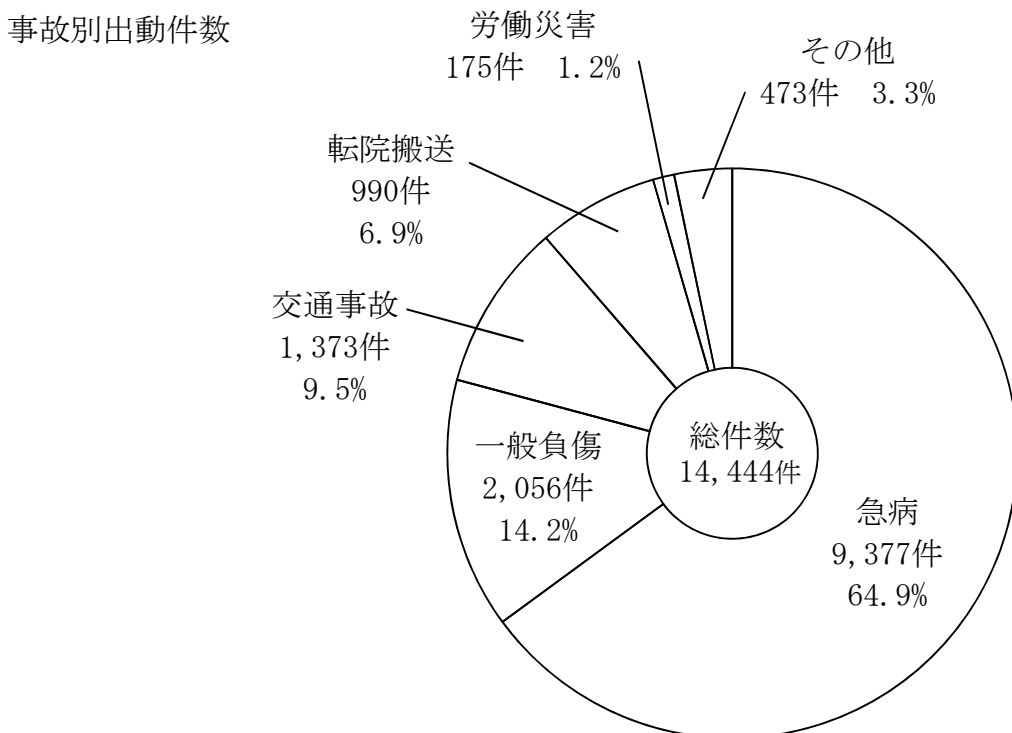
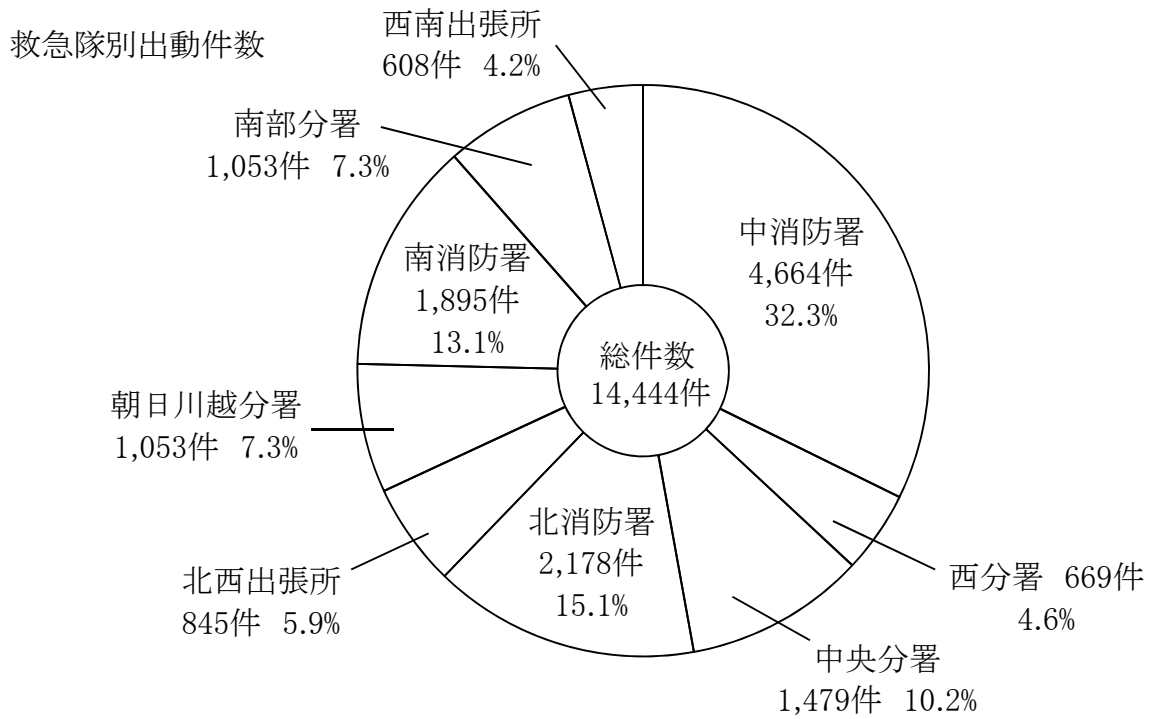
年中	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
所要時間	5分52秒	5分54秒	5分58秒	6分07秒	6分00秒

※特異事案(高速道路事案、管轄外事案、現場まで20分以上要した事案、1事案に救急車を2台出動させた場合の2台目の事案)を除いた指令から現場到着までの所要時間

# 救急概要

(平成29年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	14,444件	39.6件
搬送件数	12,284件	33.7件
搬送人員	12,409人	34.0人



※小数点以下第2位で四捨五入。

※四捨五入により100%にならないことがあります。



## 救急発生状況比較

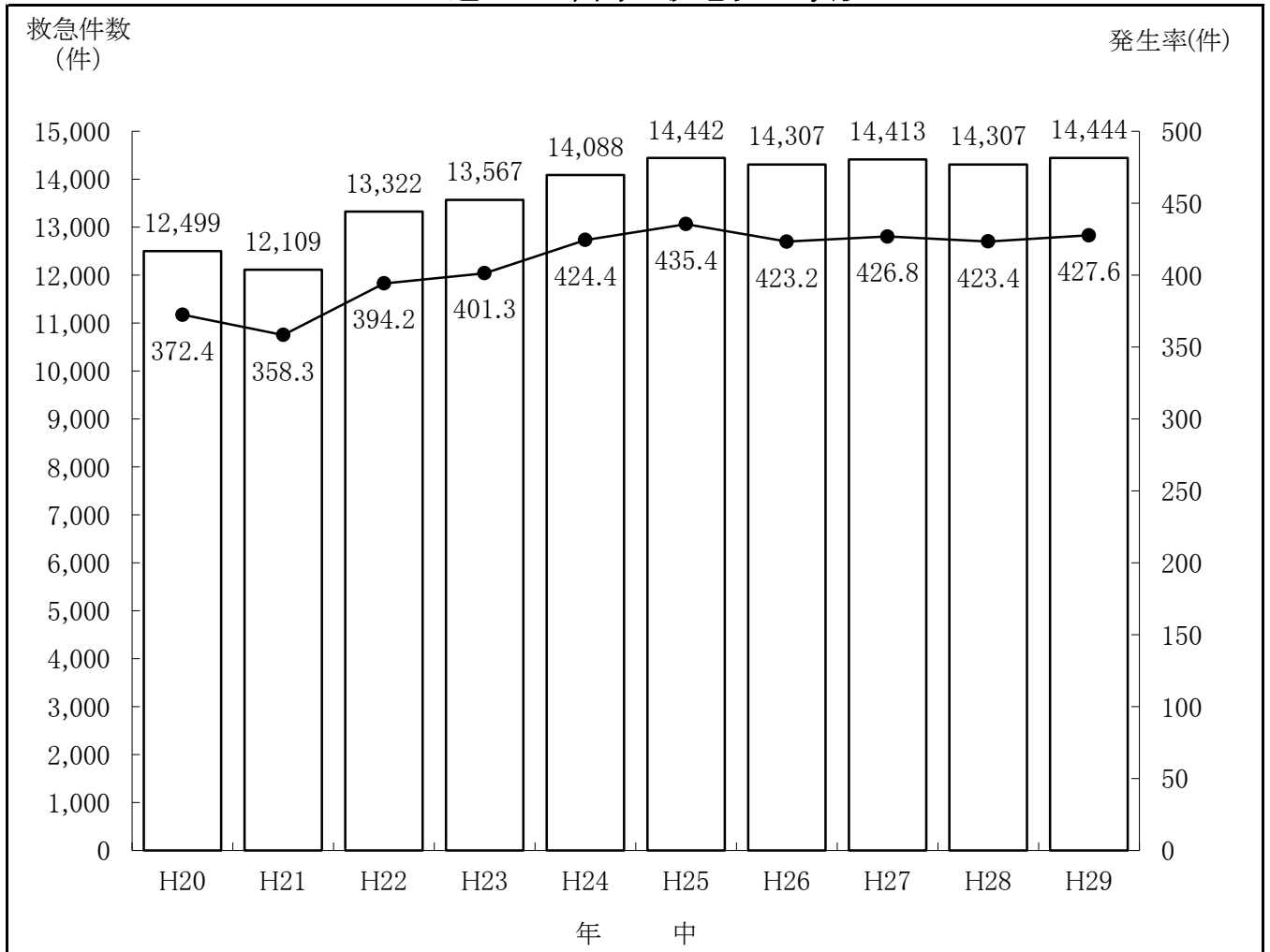
区 分		年 別				
		平成25年中	平成26年中	平成27年中	平成28年中	平成29年中
全 国	救急件数	5,909,367件	5,984,921件	6,054,815件	6,209,964件	未確定
	発生率	461.8件	467.8件	476.6件	488.6件	未確定
三重県	救急件数	90,560件	89,277件	90,593件	91,492件	未確定
	発生率	488.3件	481.3件	498.9件	503.8件	未確定
四日市市 (朝日、川越町含)	救急件数	14,442件	14,307件	14,413件	14,307件	14,444件
	発生率	435.4件	423.2件	426.8件	423.4件	427.6件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

## 過去10年間の救急発生状況



平成29年

## 地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		<b>14,444 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,284 件</b>	<b>100 %</b>	<b>12,409 人</b>	<b>100 %</b>		
中 消 防 署	小計	<b>6,119</b>	<b>42.36</b>	<b>5,090</b>	<b>41.44</b>	<b>5,125</b>	<b>41.30</b>		
	共同	771	5.34	556	4.53	557	4.49		
	同和	38	0.26	32	0.26	32	0.26		
	中央	110	0.76	94	0.77	94	0.76		
	港	161	1.11	142	1.16	143	1.15		
	浜田	659	4.56	549	4.47	553	4.46		
	橋北	305	2.11	251	2.04	251	2.02		
	海蔵	517	3.58	432	3.52	439	3.54		
	常磐	1,188	8.22	966	7.86	972	7.83		
	川島	305	2.11	272	2.21	273	2.20		
	神前	316	2.19	277	2.25	286	2.30		
	桜	537	3.72	475	3.87	477	3.84		
	県	263	1.82	231	1.88	231	1.86		
	三重	949	6.57	813	6.62	817	6.58		
北 消 防 署	小計	<b>3,446</b>	<b>23.86</b>	<b>3,015</b>	<b>24.54</b>	<b>3,043</b>	<b>24.52</b>		
	羽津	819	5.67	724	5.89	731	5.89		
	富田	532	3.68	454	3.70	462	3.72		
	富洲原	424	2.94	373	3.04	376	3.03		
	大矢知	657	4.55	561	4.57	565	4.55		
	八郷	455	3.15	398	3.24	399	3.22		
	下野	333	2.31	301	2.45	302	2.43		
	保々	226	1.56	204	1.66	208	1.68		
南 消 防 署	小計	<b>3,881</b>	<b>26.87</b>	<b>3,366</b>	<b>27.40</b>	<b>3,395</b>	<b>27.36</b>		
	塩浜	375	2.60	323	2.63	326	2.63		
	日永	971	6.72	855	6.96	863	6.95		
	四郷	1,014	7.02	878	7.15	880	7.09		
	内部	547	3.79	486	3.96	490	3.95		
	河原田	230	1.59	184	1.50	189	1.52		
	小山田	185	1.28	155	1.26	156	1.26		
	水沢	111	0.77	96	0.78	99	0.80		
	楠	448	3.10	389	3.17	392	3.16		
高速自動車道	92	0.64	70	0.57	89	0.72			
市 外	小計	<b>906</b>	<b>6.27</b>	<b>743</b>	<b>6.05</b>	<b>757</b>	<b>6.10</b>		
	朝日町	334	2.31	277	2.25	282	2.27		
	川越町	563	3.90	459	3.74	467	3.76		
	その他	9	0.06	7	0.06	8	0.06		

平成29年

## 月別救急出場状況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出場件数	<b>14,444</b>	<b>1,528</b>	<b>1,203</b>	<b>1,135</b>	<b>1,052</b>	<b>1,133</b>	<b>1,125</b>	<b>1,222</b>	<b>1,295</b>	<b>1,083</b>	<b>1,227</b>	<b>1,175</b>	<b>1,266</b>
	搬送人員	<b>12,409</b>	<b>1,294</b>	<b>998</b>	<b>957</b>	<b>909</b>	<b>978</b>	<b>974</b>	<b>1,040</b>	<b>1,119</b>	<b>950</b>	<b>1,060</b>	<b>1,032</b>	<b>1,098</b>
火災	出場件数	<b>54</b>	5	8	6	2	5	4	6	5	3	5	4	1
	搬送人員	<b>12</b>	2	1	2	0	1	1	1	0	0	2	2	0
自然災害	出場件数	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	<b>0</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	<b>6</b>	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	0
	搬送人員	<b>3</b>	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
交通	出場件数	<b>1,373</b>	114	85	108	108	135	132	100	101	127	133	116	114
	搬送人員	<b>1,221</b>	103	68	96	94	118	119	94	93	109	114	112	101
労働災害	出場件数	<b>175</b>	12	10	14	9	10	11	23	24	16	17	19	10
	搬送人員	<b>169</b>	12	10	13	9	10	11	21	21	16	17	19	10
運動競技	出場件数	<b>114</b>	8	11	7	12	13	14	17	6	11	5	4	6
	搬送人員	<b>116</b>	8	11	7	11	13	13	20	6	12	5	4	6
一般負傷	出場件数	<b>2,056</b>	290	165	137	153	146	142	132	182	154	191	159	205
	搬送人員	<b>1,791</b>	254	140	121	139	132	123	116	157	136	162	136	175
加害	出場件数	<b>59</b>	5	7	4	5	4	6	8	5	4	3	5	3
	搬送人員	<b>38</b>	4	1	3	3	3	5	3	5	4	2	3	2
自損行為	出場件数	<b>125</b>	10	12	14	14	8	7	9	13	15	6	10	7
	搬送人員	<b>77</b>	6	6	9	6	3	5	6	9	8	5	7	7
急病	出場件数	<b>9,377</b>	959	805	760	662	734	722	842	876	660	764	754	839
	搬送人員	<b>7,993</b>	799	669	630	570	628	620	708	752	583	663	650	721
転院搬送	出場件数	<b>990</b>	108	92	75	75	70	77	71	76	81	91	99	75
	搬送人員	<b>986</b>	105	92	75	75	70	77	71	76	80	90	99	76
その他	出場件数	<b>115</b>	17	8	9	11	7	9	14	7	10	12	5	6
	搬送人員	<b>3</b>	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

## 応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約300回程度開催しています。

また、毎月第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,600名の応急手当普及員及び指導者がいます。

なお、平成29年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は48.8%となっています。

### 応急手当普及啓発活動の状況

#### ○普通救命講習の実績 (208回) 3,247人 (平成29年中)

講習実施月	講習回数	男女別		修了者数	合計	消防 防炎 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	その他 (定期含む)
		男	女										
合 計	208回	1,778	1,469	3,247		143	251	342	422	1,107	294	267	421
1 月	8回	81	14	95						77		10	8
2 月	15回	257	42	299		61	23			181	6	7	21
3 月	17回	193	69	262			48	4		168	17		25
4 月	13回	102	111	213		10		16	38	67	34	29	19
5 月	16回	107	187	294		17	15	86	22	22	66	12	54
6 月	49回	315	496	811		38	57	74	250	114	65	106	107
7 月	18回	135	194	329			28		112	61	61	12	55
8 月	6回	33	37	70						26		15	29
9 月	23回	271	72	343			28			242	10	24	39
10月	13回	84	46	130			29	12		66		18	5
11月	22回	157	174	331		17	23	150		62	23	26	30
12月	8回	43	27	70						21	12	8	29

※ 応急手当普及員にて55回実施、受講者700人含む。

#### ○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数 5回 120名(男50名・女70名)
----------------	----------------------------

#### ○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 8回・再講習 1回 64名(男52名・女12名)
-----------	----------------------------------

#### ○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習 3回・再講習 11回 254名(男177名・女77名)
-------------------	-------------------------------------

○救命入門コース(90分)の実績 : 時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数 60回 1,301名(男584名・女717名)
--------------	---------------------------------

## 心肺機能停止傷病者の救命率

◎ 救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の1ヵ月後の生存率です。  
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区 分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全 国
平成 25 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	312人	123,987人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	94人	25,469人
	1ヵ月後の生存者数	14人	3,035人
	救命率	14.9%	11.9%
平成 26 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	286人	125,951人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	80人	25,255人
	1ヵ月後の生存者数	12人	3,082人
	救命率	15.0%	12.2%
平成 27 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	310人	123,421人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	82人	24,496人
	1ヵ月後の生存者数	5人	3,186人
	救命率	6.1%	13.0%
平成 28 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	302人	123,554人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	78人	25,569人
	1ヵ月後の生存者数	9人	3,400人
	救命率	11.5%	13.3%
平成 29 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	283人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	67人	未確定
	1ヵ月後の生存者数	9人	未確定
	救命率	13.4%	未確定

$$\text{※救命率} = \frac{\text{1ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので一般市民に目撃された傷病者数}}$$